

地域密着型通所介護デイサービス夢  
運営推進会議議事録

開催日	平成 30 年 4 月 25 日 午後 14 時 00 分～午後 15 時 00 分	
会議名	地域密着型通所介護デイサービス夢第 4 回運営推進会議	
開催場所	静岡市清水区草薙 1 1 3 1 - 1 デイサービス夢静養室	
出席者	デイサービス夢	施設長：植田 美子 管理者：岡田 玄男 書記：仲本 加代子
	利用者家族代表	岩本 保雄
	地域住民代表	(役職) 山の手自治会長：秋元 健
		(役職) 民生委員：望月 和代
地域包括支援センター	(センター名) 有度地域包括支援センター (役職) 主任介護支援専門員：福田 秀美 (役職) 社会福祉士：岩森 美由紀	
議事内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 開会の挨拶</li> <li>② 会議の趣旨</li> <li>③ 出席者紹介</li> <li>④ 変更点の説明</li> <li>⑤ 活動報告</li> <li>⑥ 事故・ヒヤリハットの報告</li> <li>⑦ 議事</li> </ul>	<p>植田美子が会議参加の御礼と開会を宣言した。</p> <p>岡田玄男が引き続き本会議の趣旨を述べた。</p> <p>本日の出席者の役職・氏名を紹介し、順次自己紹介を行って貰った。</p> <p>岡田玄男が配布資料を基に、平成 30 年度介護保険法改正による当事業所の変更点の説明を行った。(資料配布)</p> <p>岡田玄男が配布資料を基に、平成 29 年 11 月から平成 30 年 3 月までの活動報告と行事報告を行った。(資料配布)</p> <p>岡田玄男が配布資料を基に、事故・ヒヤリハットの報告を行った。(資料配布)</p> <p>(1)利用者家族代表、(2)地域包括支援センター代表、(3)地域住民代表がそれぞれ施設への意見や要望を述べた。</p> <p>(1)家では利用者と話をしてもその内容を忘れてしまい、同じ説明を何度も繰り返さなければならない。宿泊サービスを利用するときも、必要性についてなかなか理解できず、仮に理解してもすぐ忘れてしまって同じことの繰り返しとなってしまう。そういった面でもストレスが溜まっていってしまうので、正直な所サービスを利用している時は気持ちが休まる。利用者自身は「仕事に行く」とやりがいを感じている様で、嫌がらず施設を利用</p>

	<p>⑧ 閉会挨拶</p>	<p>しているのを、助かっている。</p> <p>(2)現在高齢者の自己証明用に、ユーカードを推進している。今の所 CM 主導で行っているのを、介護保険対象者が主となり、それ以外の方への周知に時間がかかっている。民生委員の方にも協力してもらい、いずれは薬局などでも用意出来るようにしていきたい。</p> <p>(3)独居となった高齢者の方が自治会を抜けてしまうと、連絡を取るのが難しくなってしまう。家族と連絡を取ろうにも、連絡がつかなかったり、遠方にいたり、緊急時の対応は非常に困難となる。月 2 回の S 型デイで家族の協力の得られる方や、足のしっかりしている方の安否確認は容易だが、出歩かない独居の方などは民生委員さんが高齢者の実態調査で回ってくれて、出来るだけ状態の把握に努めている。そういった方に介護施設の存在を知っていただいたり、利用することで自治会としても安否確認できるよう、地区の介護施設で連携を取って体験してもらってはいかがか。今後高齢者のみの世帯も増えていく事も想定して、特定の施設に肩入れすることはできないが、周辺施設と合同でのことであれば自治会館を使用など、自治会として協力することができる。</p> <p>植田美子が会議の閉会を宣言した。</p> <p>会議参加の御礼を述べ、次回開催予定を説明して散会。</p>  <p>参加者</p>
--	---------------	--